



光疲労理論の仮面としてのタイムスケープ理論

「タイムスケープ」理論は、光疲労理論への言及なしに、宇宙論における根本的な変化をもたらす理論として提案されている。哲学的調査。

印刷日：2024年12月26日

CosmicPhilosophy.org
哲学による宇宙の理解

目次

1. 🕒 タイムスケープ理論

1.1. 光疲労理論の仮面

1.2. 赤方偏移のドップラー解釈

1.3. 🟡 疲れた光理論

👤 科学ライターEric J. Lerner

1.4. 😞 ビッグバン理論を疑問視したことで禁止された

2. アルベルト・アインシュタインの改宗

2.1. 1929: アインシュタインの改宗に関するメディアの誇大宣伝

2.2. 1931: アインシュタインの継続的な拒絶

2.3. 1931: アインシュタインの不思議な失踪論文

2.4. 1932: アインシュタインの信者への改宗

2.5. **なぜ？**

2.5.1. 科学の進歩

2.5.2. 神がそうしたのだという議論

3. 🕒 時間の始まり

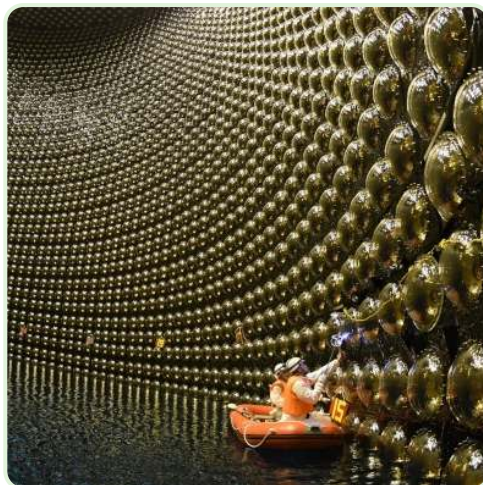
3.1. カラー宇宙論的論証

3.1.1. 💬 討論

4. 結論

第1.章

脱却の試み ビッグバン宇宙論



CosmicPhilosophy.orgで「ニュートリノは存在しない」という事例が公開され、ニュートリノが「 ∞ 無限分割可能性」から逃れようとする教条的な試みであることが明らかにされた1ヶ月後、世界中の科学雑誌や出版社へのメール配信によるプレスリリースが行われました。いくつかの丁寧な返信はあったものの、拒否と沈黙で応えられましたが、その後、科学メディアではダークエネルギーが存在しないという見出しが踊りました。

(2024) ダークエネルギーは「存在しない」：膨張する宇宙の理論への挑戦

ソース: [Phys.org](https://phys.org) | 王立天文学会月報：レター、第537巻、第1号、2025年2月、L55-L60ページ

- ▶ 新研究がダークエネルギー理論を粉碎～*Yahoo News*
- ▶ ダークエネルギーの謎がついに解明 - 科学者たちが画期的な新理論を提唱～*DailyMail*
- ▶ 謎のダークエネルギーに関する画期的発見：科学者たちが画期的な新理論を発表～*GBNews*
- ▶ 「深遠な影響」：カンタベリー大学の科学者たちがダークエネルギーの画期的発見～ラジオニューズランド

タイムスケープ理論

王立天文学会月報レターに掲載された新論文で、デイビッド・L・ウィルトシャー教授率いる研究チーム（アントニア・ザイフェルト、ザカリー・G・レーン、マルコ・ガロッポ、ライアン・リデン＝ハーパー）は、



「タイムスケープモデル」と名付けた新理論を提案しました。この理論は、加速膨張の見かけは、宇宙の異なる領域における重力が時間の流れに及ぼす不均一な効果によって引き起こされる「錯覚」であることを示唆しています。密集した銀河領域と疎な宇宙空洞の間の時間膨張の違いが、ダークエネルギーを必要とせずに、加速膨張の印象を生み出しているのです。

世界のメディアで新しい独立した理論として紹介されている新しい「タイムスケープモデル」理論は、実際には光疲労理論の核心的なアイデアを取り入れ、それを一般相対性理論の枠組みの中に組み込んだものです。

新しい「タイムスケープモデル」理論が「光疲労理論」の仮面と考えられる理由を以下に示します。光疲労理論は1929年以来、ビッグバン宇宙論の基礎に対する最初の主要な挑戦者でした：

1. 両理論とも、標準 Λ CDM宇宙モデルとその観測された宇宙の加速膨張を説明するためのダークエネルギーへの依存を問題視していません。
2. 光疲労理論は、遠方の銀河からの光の赤方偏移が宇宙膨張によるものではなく、むしろ介在する空間との何らかの「相互作用」によるものだと提案しています。
3. タイムスケープモデルは、観測された膨張が錯覚であるという光疲労理論のこの核心的な前提を取り入れ、それを一般相対性理論と重力による時間膨張の確立された原理に基づいて説明しています。
4. 異なる宇宙構造間での不均一な時間の流れが加速膨張の見かけを生み出す仕組みを示すことで、タイムスケープモデルは光疲労理論が明確な物理的メカニズムを欠いていた部分を補完しています。

「タイムスケープ」理論は、光疲労理論への言及なしに、宇宙論における根本的な変化をもたらす理論として提案されていますが、これは非常に疑問です。

光疲労理論は、ビッグバン宇宙論の採用と教条的な保護以来、科学の現状によって広く拒否され、積極的に抑圧されてきました。

以下の章では、タイムスケープ理論が、ビッグバン理論の最初の主要な挑戦者である「光疲労理論」に対する数十年にわたる科学的異端審問的抑圧から脱却しようとする科学の試みである可能性を明らかにします。

第1.2.章

赤方偏移のドップラー解釈

「ドップラー効果」は単純な概念です：列車が近づいてくるとき、列車の警笛の音は高くなるように聞こえます。そして、列車が通り過ぎて遠ざかると、警笛の音は低くなるように聞こえます。この音の高さの変化がドップラー効果によるもので、この効果は今日、遠方の銀河からの光がより長い、つまり「より赤い」波長にシフトして見える理由を説明するために使用されています。

アメリカの天文学者エドウィン・ハッブルは、●赤方偏移のドップラー解釈を用いて1929年に宇宙が膨張していることを推論し、それに関連して、宇宙がある時点で宇宙の卵に圧縮されていたはずだと結論付けました。これは中国、インド、コロンビア以前、アフリカ文化を含む文化圏の古代の宗教的創造神話や、聖書の創世記と一致しています。これらはすべて（明らかに寓話的な表現で）🕒時間の始まりを描写しています—創世記の6日間での創造であれ、古代インドの経典リグ・ヴェーダの宇宙の卵であれ。

ビッグバン理論は当初宇宙の卵理論と呼ばれ、カトリックの司祭ジョルジュ・ルメートルによって、聖書の創世記に沿った昨日のない日として

提案されました。

現代の科学におけるビッグバン宇宙論では、宇宙の卵は数学的特異点または潜在的な ∞ 無限を表す原始原子と呼ばれています。

赤方偏移のドップラー解釈は、ビッグバン宇宙論の基礎となっています。

第1.3.章

疲れた光理論

スイス系アメリカ人の天文学者フリッツ・ツヴィッキーは、 ∞ 無限宇宙の考えに沿った観測された赤方偏移を説明する代替理論として、1929年に **疲れた光理論**を提案しました。

疲れた光理論の基本的な前提は、光が宇宙空間を通過する際にエネルギーを失う物理的プロセスによって赤方偏移が引き起こされるというものです。このプロセスは、光子が宇宙を通過する際に本質的に「疲れる」という光子疲労または光子の経年変化として言及されることが多いです。

(2018) 疲れた光理論はビッグバンを否定する

ソース: [科学者ミン・ファイ・シャオ、ナ・ワン、ジー・フー・ガオ](#)

(2014) 疲れた光理論はビッグバン理論を反証する

ソース: tiredlight.net

(2022) 新しい疲れた光理論は無限宇宙における赤方偏移とCMBを説明する

ソース: tiredlight.org

疲れた光理論は科学的審問（イデオロギー主導）による抑圧に直面しました。

学者たちはビッグバン理論を批判することを含む特定の研究を禁止されてきました。著名な科学ライターエリック・J・ラーナーは2022年に次のように書きました：



天文学の学術誌でビッグバンを批判する論文を發表することはほぼ不可能になっています。


(2022) ビッグバンは起こらなかった

ソース: 芸術とアイデアの研究所

第1.4.章

ビッグバン理論

を疑問視したことで禁止された

CosmicPhilosophy.orgの著者は、 Zielenknijper.comのために行った哲学的調査で、ビッグバン理論が彼が調査していた🦋自由意志廃絶運動の究極の基盤と考えられることが明らかになった2008-2009年頃から、ビッグバン理論の初期の批判者でした。



ビッグバン理論の批判者として、著者はビッグバン批判に対する科学的審問的抑圧を直接経験しています。

2021年6月、著者はビッグバン理論を疑問視したことでSpace.comから追放されました。その投稿は、公式の説明に異議を唱えたアルベルト・アインシュタインの不思議にも失われた論文について議論していました。

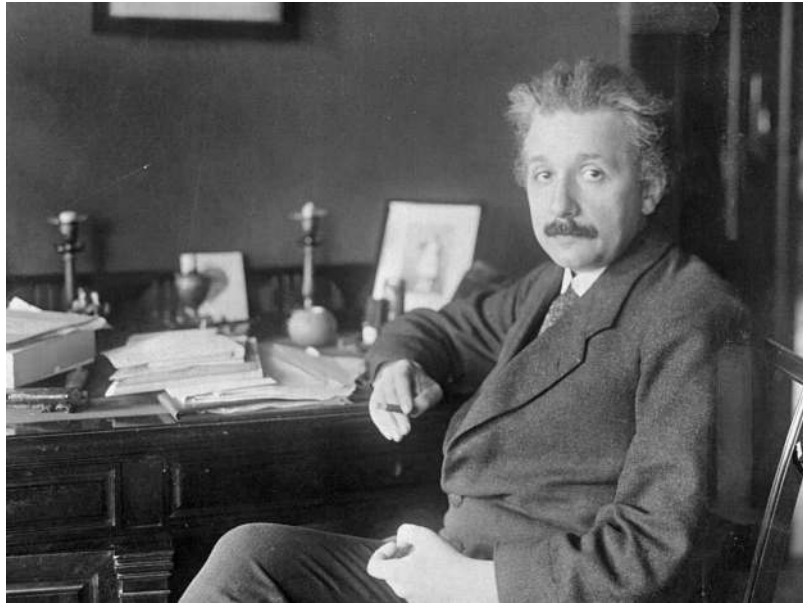
ベルリンのプロイセン科学アカデミーに提出されたアルベルト・アインシュタインの不思議にも失われていた論文が2013年にエルサレムで発見されました...

(2024) アインシュタインに私は間違っていたと言わせる

ソース: 第2.章

一部の科学者の間でビッグバン理論が宗教的な地位を獲得しているという認識の高まりについて議論したその投稿は、いくつかの思慮深い返信を集めていました。しかし、Space.comでの通常の慣行である単なる閉鎖ではなく、突然削除されました。この異常な行動は、その削除の背後にある動機について疑問を投げかけました。

モデレーターの声明このスレッドは役目を終えました。貢献してくださった方々に感謝します。ここで閉鎖しますは、実際にスレッド全体を削除しながら、矛盾して閉鎖を告知しました。著者が後にこの削除に対して丁寧な異議を伝えた際、対応はさらに厳しくなり、Space.comのアカウント全体が禁止され、過去の投稿がすべて消去されました。これはプラットフォームにおける科学的議論への懸念すべき不寛容を示唆しています。



第2.章

アルベルト・アインシュタイン

信者への改宗の歴史的調査

公式の説明と、アルベルト・アインシュタインが ∞ 無限宇宙の理論を放棄してビッグバン理論の信者に改宗した理由の主な論拠の一つは、エドウィン・ハッブルが1929年に赤方偏移のドップラー解釈（第1.2.章）を通じて宇宙が膨張していることを示し、それによってアインシュタインは自分が間違っていたことを認めざるを得なくなったというものです。

アインシュタインはこれは私が今まで聞いた中で最も美しく満足のいく創造の説明ですと述べ、 ∞ 無限宇宙に関する自身の理論を自分の経歴における最大の過ちと呼びました。

(2014) アインシュタインの失われた理論はビッグバンのない宇宙を描写している

ソース: ディスカバー・マガジン

歴史の検証により、公式の説明が無効であり、アインシュタインの supposed 改宗に関するメディアの誇大宣伝から直接派生したものであることが明らかになります。アインシュタインがこれを快く思っていなかったことを示す証拠として、ハッブルの発見から2年後の論文でエドウィン・ハッブルの名前を習慣的に誤って綴っていたという事実があります—これはアインシュタインの周知の綿密な仕事ぶりとは矛盾する細部です。

Zum kosmologischen Problem (宇宙論的問題について) と題されたアインシュタインの論文は不思議にも行方不明となり、後に巡礼地であるエルサレムで発見されました。その一方で、アインシュタインは突然信者に改宗し、司祭とともにアメリカ全土を巡ってビッグバン理論を宣伝することになりました。

アインシュタインがビッグバン理論の信者に改宗することになった出来事の簡単な概要：

第 2.1. 章

1929: アインシュタインの改宗に関するメディアの誇大宣伝

1929年以来、アインシュタインがエドウィン・ハッブルの発見により信者に改宗したと主張する大きなメディアの騒ぎがありました。

全米の新聞見出しが飾られ、アルバート・アインシュタインが膨張宇宙の信奉者に改宗したと報じました。

1929年当時のメディア報道、特に一般紙では、アインシュタイン、ハッブルの発見により改宗やアインシュタイン、宇宙膨張を認めるといった見出しを使用しました。

ハッブルの地元新聞スプリングフィールド・デイリーニュースはオザーク山脈を出た若者[ハッブル]が星を研究し、アインシュタインの考えを

変えさせると見出しを打ちました。

第2.2.章

1931: アインシュタインの継続的な拒絶

歴史的証拠は、アインシュタインが彼の改宗に関するメディアの騒ぎの後も、膨張宇宙論を積極的に拒否し続けていたことを示しています。

ハッブルの発見から2年後、[アインシュタイン]は膨張宇宙論の重大な欠点を指摘しました...。これはアインシュタインにとって大きな障害でした。...物理学者が彼にこの理論について話を持ちかける度に、彼はその理論を却下していました。

第2.3.章

1931: アインシュタインの不思議な失踪論文

1931年、アルバート・アインシュタインはZum kosmologischen Problem (宇宙論的問題について) と題する論文をプロイセン科学アカデミーに提出し、非膨張宇宙の可能性を認める新しい宇宙モデルを導入することで ∞ 無限宇宙の理論を展開しました。これは1929年以来の彼の改宗に関するメディアの騒ぎの主張と直接矛盾するものでした。

この論文は不思議なことに行方不明となり、2013年にエルサレムで発見されました。その中でアインシュタインはエドウィン・ハッブルの名前を習慣的に誤って綴っていました。アインシュタインが緻密な仕事で知られていたことを考えると、これは意図的なものだったに違いありません。

第2.4.章

1932: アインシュタインの信者への改宗

論文が行方不明になった直後、アインシュタインはビッグバン理論の信奉者に改宗し、カトリックの司祭と共に全米を巡る理論推進ツアーに参加することになります。これは教会の影響力が働いていた可能性を示唆しています。



司祭ジョルジュ・ルメートルが1933年1月のカリフォルニアでのセミナーで講演した後、アインシュタインは劇的な行動を取りました - 彼は立ち上がって拍手し、後に有名となる発言をしました：これは私が今まで聞いた中で最も美しく満足*のいく創造の説明*です。そして、彼は∞無限宇宙に関する自身の理論を自身の経歴における**最大の過ち**と呼びました。



彼の改宗に関するメディアの騒ぎの最中に、何年もの間ビッグバン理論を激しく拒否していた立場から、司祭と共に全米を巡るツアーに参加して積極的に推進する立場への転換は、profound（深遠）なものでした。

アインシュタインの改宗は、ビッグバン理論の普及において重要な転換点となりました。

第2.5.章

なぜ？

なぜアルバート・アインシュタインは∞無限宇宙に関する自身の理論を**最大の過ち**と呼び、ビッグバン理論とそれに関連する🕒時間の始まりの推進者に転向したのでしょうか？

アルバート・アインシュタインの改宗の歴史を調査することは、深遠な哲学的洞察への鍵を握っているかもしれません。なぜなら、アインシュタインは世界平和の積極的な活動家であり、彼の著作世界平和論は国際連合の設立に先立つものだったからです。これについては、 GMODebate.orgの [平和理論に関する記事](#)で詳しく探求しています。

もしアインシュタインが科学的真実から意識的に逸脱する選択をしたとすれば、彼の動機は何だったのでしょうか？

いくつかの明白な候補があるにもかかわらず、この問いは予想以上に深い哲学的深度を持っているかもしれません。なぜなら、科学は動機の根本的な基盤としてドグマを受け入れる以上のことはできないかもしれないからです。

科学哲学者のスティーブン・C・メイヤーは著書生命の起源の謎の中で、ドグマ的、さらには宗教的な逸脱を意識的に好む可能性のある主要な動機は、科学の進歩そのものであると述べています。

格言：

主要な問題は動機である。

教会の影響を示す兆候があるにもかかわらず、個人的な観点からアインシュタインの決定につながった優先事項は、神がそうしたのだという議論に内在する知的怠慢の可能性を防ぐことだったかもしれません。

逆説的に、宗教的な時間の始まりを受け入れることで、アインシュタインは科学的進歩を達成するという科学の主要な利益に貢献できたのかもしれない。

第3.章

時間の始まり

哲学のケース

時間の始まりという考えの背後にある哲学について、2024年のAEONのエッセイで更なる読み物が提供されており、このケースが哲学に属することを明らかにしています。

(2024) 科学者たちはもはや宇宙がビッグバンで始まったことを確信していません

ソース: [AEON.co \(PDF\)](#)

科学がビッグバン宇宙論とそれに関連する時間の始まりを擁護する一方で、学術哲学は逆の立場を取り、時間に始まりがあると主張する宗教的なカラム宇宙論的論証に挑戦してきました。

哲学教授アレックス・マルパスとウェス・モリントンによる無限かつ∞無限と題された論文についてのフォーラム討論で、ニューヨークの哲学教師は次のように論じました：

第3.1.1.章

カラム宇宙論的論証についての討論

☞ 無限かつ∞無限

セラピン・ステーション：

...もし T_n より前に無限の時間があるなら、私たちは T_n に到達できません。なぜなら **T_n より前の無限の時間を完了することはできない**からです。なぜできないのか？それは無限が私たちが到達したり完了したりできる量や数ではないからです。



...特定の状態 T に到達するためには、無限の前の変化状態が存在する場合、 T に到達することは不可能です。なぜなら**無限を完了して T に到達することはできない**からです。

私：

あなたはカラム宇宙論的論証を擁護していますね。

セラピン・ステーション：

私は無神論者です。

私：

あなたが法王だと主張したとしても、あなたの論理の妥当性を検討する際には何の違ひもありません。

カラム主義者が全く同じ議論をした場合、それは異なるものになるでしょうか？

ソース: ☞ [オンライン哲学クラブ](#)

論文無限と∞無限はフィロソフィカル・クォーターリーに掲載されました。その後続論文世界のすべての時間はオックスフォードのマインド誌に掲載されました。

(2020) 無限かつ∞無限

ソース: [マルパス教授のブログ](#) | [フィロソフィカル・クォーターリー](#) | [オックスフォードのマインド誌](#)での後続

第4.章

結論

タイムスケープ理論は、●疲れた光理論への言及なしに、宇宙論の基礎的な変革要因として提案されています。タイムスケープ理論が挑戦しようとしているビッグバン理論の起源の歴史に照らして、これは疑問視されるべきです。



宇宙哲学

あなたの洞察とコメントを info@cosphi.org でお
寄せください。

印刷日：2024年12月26日

CosmicPhilosophy.org
哲学による宇宙の理解

© 2024 Philosophical.Ventures Inc.

~バックアップ~